

倉敷市児島モーターボート競走場 補助照明設置工事

図面番号	図面名称	縮尺 (A1)
Eー 00	図面リスト	ー
Eー 01	倉敷市営繕工事特記仕様書・付近見取図	ー
Eー 02	電気設備工事特記仕様書	ー
Eー 03	分電盤結線図・照明器具参考姿図ほか	ー
Eー 04	スタンド棟(3期)5階電灯設備改修平面図	1/100
Eー 05	スタンド棟(3期)6階電灯設備改修平面図	1/100
Eー 06	スタンド棟(4期)6階電灯設備改修平面図	1/100
Eー 07	(参考)照度分布図	1/1000

電気設備工事特記仕様書

I 工事種目

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------|
| ・ 電灯設備 | ・ 自家発電設備 | ・ インターホム設備 | ・ ガス漏れ警報設備 |
| ・ コンセント設備 | ・ 太陽光発電設備 | ・ トイレ等呼出設備 | ・ 警備配管設備 |
| ・ 動力設備 | ・ 構内情報通信網設備 | ・ テレビ共同受信設備 | ・ 構内配電線路設備 |
| ・ 雷保護設備 | ・ 構内交換設備 | ・ 監視カメラ設備 | ・ 構内通信線路設備 |
| ・ 受変電設備 | ・ 電話配管設備 | ・ 防火設備 | ・ |
| ・ 直流電源設備 | ・ 時刻表示設備 | ・ 自動火災報知設備 | ・ |
| ・ 交流無停電電源設備 | ・ 拡声設備 | ・ 自動閉鎖設備 | ・ |

II 一般共通事項

特記事項は◎印のついたものを適用する。ただし、◎印のない場合は※印を適用する。

項目	特記事項															
1電気工作物の種類	○事業用 ・一般用															
2契約種別	◎小売電気事業者（ 中国電力(株) ） ・従量電灯（・A ・B） ・低圧電力 ・業務用電力 ・公衆街路灯 ・定額電灯 ・															
3環境への配慮	公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編第1章第4節1.4.1「環境への配慮」による。															
4機材等	本工事に使用する設備機材は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受けること。 また、（一社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって、 所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の 写しを監督員に提出するものとする。															
5機材の品質等	公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編第1章第4節1.4.2「機材の品質等」による。															
6電気工事士	契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。															
7配線・配管材料	電線、ケーブル、同付属品及び電線管、同付属品はJIS規格表示工場製品とする。															
8電線管の塗装	露出配管で、設計図書に記載のある銅製電線管は下記の塗装を行う。 屋内：エッチングプライマー（JIS K 5633 1種）1回塗り＋鉛・クロムフッ素び止めペイント （JIS K 5674）1回塗り＋合成樹脂調合ペイント（JIS K 5516 1種）2回塗り 調合塗料は、ホルムアルデヒド等の放散量を考慮し、F☆☆☆☆を使用する。 屋外：エッチングプライマー（JIS K 5633 1種）1回塗り＋鉛・クロムフッ素び止めペイント （JIS K 5674）1回塗り＋合成樹脂調合ペイント（JIS K 5516 2種）2回塗り															
9導入線	・不用 ※長さ1m以上入線しない管路には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 （上階増設用予備配管を除く）															
10フラッシュプレート	・ステンレス ・合成樹脂(色は監督員と協議すること) ※新金属															
11フロアープレート	水平高低調整プレート(空転防止リング付とする。)															
12ブルボックス仕上げ等	設計図書に記載のある金属ブルボックスはメラミン焼付け指定色塗装とする。															
13ブルボックス・ブランク カバー等の用途別表示	電灯(灯)、動力(動)、電話(T)、電気時計(時)、放送(放)、表示(表)、インターホン(イ)、 テレビ共聴(TV)、火災報知(火)、警備(警)、防火扉(扉)、警報(報)、電極・電磁弁(制) 情報(信)、集中検針(検) 屋内：シール 屋外：エッチング又はアルミシール															
14電線本数・管路等	配管配線の経路、電線サイズ、電線本数及び管路サイズなどは、監督員と協議により 図面表示と多少増加させてよい。															
15電線の表示	盤及びバルコナ内は丸丸、ハンドホール内はプラスチックエッチングにて下記の表示を行う。 用途、線種、経路、回路名(番号)															
16接続スリーブ	原則として、肉厚0.5mm以上の圧着スリーブを使用する。															
17配線器具の取付ビス	黄銅製又はステンレス製ビスを使用する。															
18引留め金具等	フックボルト(DV14口 相当以下) アンカーボルト(DV22口 相当以上)															
19照明器具の接地	接地端子付照明器具は全て接地する。 接地線は原則としてEM-IEI.6mm以上とする。 ただし、ケーブルの心線数を追加して(配線と同一サイズ)使用してもよい。															
20接地極	右記による。 <table><tr><th>接地種別</th><th>接地抵抗値</th><th>接 地 極</th></tr><tr><td>A種、O種接地工事</td><td>10Ω以下</td><td>EP 900 × 900 × 1.5t</td></tr><tr><td>B種接地工事</td><td>50Ω以下(※)</td><td>EP 900 × 900 × 1.5t</td></tr><tr><td>D種接地工事</td><td>100Ω以下</td><td>EB 14φ - 1500mm(銅棒)</td></tr><tr><td>測定用補助接地極(Ep, Ec)</td><td>———</td><td>EB 10φ - 1000mm(銅棒)</td></tr></table>	接地種別	接地抵抗値	接 地 極	A種、O種接地工事	10Ω以下	EP 900 × 900 × 1.5t	B種接地工事	50Ω以下(※)	EP 900 × 900 × 1.5t	D種接地工事	100Ω以下	EB 14φ - 1500mm(銅棒)	測定用補助接地極(Ep, Ec)	———	EB 10φ - 1000mm(銅棒)
接地種別	接地抵抗値	接 地 極														
A種、O種接地工事	10Ω以下	EP 900 × 900 × 1.5t														
B種接地工事	50Ω以下(※)	EP 900 × 900 × 1.5t														
D種接地工事	100Ω以下	EB 14φ - 1500mm(銅棒)														
測定用補助接地極(Ep, Ec)	———	EB 10φ - 1000mm(銅棒)														
21接地極埋設標示	ただし、規定値以上の場合は接地極の数を増やす。 (※)電気事業者に確認すること ・接地標示杭(埋設標示杭と同形) ※黄銅板製(掘り込み式) ・ステンレス板製 ・接地埋設標示ピン															
22ハンドホール、 マンホール	ハンドホール、マンホール内ではケーブル支持材又はコンクリートブロック (ゴムシートを取り付け)等でケーブルを支持する。 鉄蓋は鋳造流し込みで用途名を表示する。 鎖はステンレス製とし、シャックルで固定する。															
23防火区画貫通部の 耐火処理	電線管、金属ダクト、ケーブルラック等が防火区画を貫通する場合は、 建築基準法による施工を行う。															
24再使用機器	取り外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗を測定のうえ取り付ける。															
25改修工事における 既設設備試験測定	改修工事の着手前・竣工時に既設電気設備の絶縁、接地抵抗の測定及び 弱電機器の動作確認を実施し、試験成績書を監督員に提出する。															
26既存の改造・増設	今回改造、増設するものについては、既存を含め図面を修正し完成図として納める。															
27PCB使用機器の撤去	撤去する器具類でPCB使用のコンデンサ、安定器等は「特別管理産業廃棄物保管基準」 (廃棄物処理法施行規則第8条の13)に基づき保管する。ただし、保管場所は別途指示する。															
28絶縁油中のPCB分析	変圧器、進相コンデンサー、遮断器などの絶縁油中のPCB分析は下記による。 分析方法 GC-ECD法(ガスクロマトグラフ) 分析定量下限値 0.1mg/kg(0.1ppm)															

項目	特記事項
29 屋外配管・機器の取付	屋外、多湿箇所の配管、機器の取付材はステンレス製、高耐食性めっき鋼板又は溶融亜鉛メッキ仕上げのものとする。 屋外取付のブルボックス及び盤類には水抜き穴を設ける。
30 予備品・工具	○配電盤ヒューズ、ランプは各色 1 個 ○ハンドホール開閉工具
31 鍵	プラスチック板に各名称を彫り込みしたものを取付け、2 組納入する。
32 耐震施工	設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」（令和3年度版）による。 建物の種別 重要機器 ※特定の施設 ・配電盤 ・UPS装置 ○一般の施設 ・自家発電装置 ・火災報知受信機 ・交換機 ・中央監視装置 ・直流電源装置
33 防振ゴム	防振ゴム等に東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)で製造された製品や材料を用いる場合には、使用承諾願と併せて、第三者機関による品質を証明する書類を提出すること。
34 電線・ケーブル	※環境対策型 ・非環境対策型 ポリエチレンケーブル又は架橋ポリエチレンケーブルのシースを剥ぎ取った後の絶縁体に直射日光又は紫外線があたる恐れのある場合は、黒色の自己融着テープ又は収縮チューブを用いて紫外線対策処理のうえ、色識別テープを巻き付けること。 接地線は、緑色、緑/黄又は緑/色帯のEM-IE電線等を使用し、その太さは公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）第2編第2章第13節2.13.9「接地線」による。ただし、ケーブルの一芯を接地線として使用する場合は、緑色の芯線とする。
35 本受電後の電力基本料金	【高圧受電設備がある施設の新設・改修時（着手前に電力契約を廃止できる場合）】 ・完成引渡までの電力基本料金は受注者の負担とする。 【高圧受電設備がある施設の改修時（着手前に電力契約を廃止できない場合）】 ・着手前に既設デマンド値を確認し、改修後に既設デマンド値を超えないようにすること。 （必要に応じて動力機器の試運転スケジュール等を提出すること）

Ⅲ 盤共通仕様

図中特記なきものは下記とする。

項目	特記事項
1 壁名称	電灯盤 動力盤 端子盤 保安器盤 等を標準とする。
2 回路・機器名称	エッチングプレート又は、タイプ印字した紙をカードホルダーに挿入したものとする。
3 機器	単相3線式回路に設ける400A以下の電灯盤の主幹MCCB、ELCBは中性線欠相保護機能付とする。 ただし、負荷側電線路に中性線欠相保護機能付遮断器が施設されている場合を除く。
4 非実装回路	破線表示の機器は非実装とするが、実装のための加工は全て行い、必要に応じて 分岐銅パネルの取り付けを行う。 分岐銅バーについては納品する。
5 扉の接地	扉面に強電機器(60V以上)を取付ける場合は、扉に接地を施す。
6 電線・ケーブル	盤内配線に使用する絶縁電線・ケーブルは可能な限り環境対策型を使用する。

IV 配線・配管の表記

図中特記なきものは下記とする。

項目	特記事項
1 施工種別	JIS C 0303及び公共建築設備工事標準図によるほか、以下のとおりとする。 ただし、図面内に特記がある場合はそちらによる。 _____ } - - - - - } - - - - - } - - - - - } 天井内ころしが配線（屋内） 床いんべい配線 露出配線 _____ } _____ } _____ } 地中埋設配線（屋外） 架空配線 電線管の施工方法の表記は下記による。 () いんべい (()) 露出 (キセツ) 既設管に入線
2 配線種別	IE電線 : IE EM-CEEケーブル : CEE EM-EEFケーブル (1. 6-2C) : F2 EM-AEケーブル : AE " (1. 6-3C) : F3 EM-HPケーブル : HP " (2. 0-2C) : 2F2 EM-S-(n) C-FB : (n) C-FB (例: 5C-FB) " (2. 0-3C) : 2F3 EM-UTPケーブル : UTP (n) (例: UTP6A) EM-CEケーブル : CE
3 配管種別	ネジなし電線管 : (E) 合成樹脂製可とう電線管 (1重管) : (PF) 薄鋼電線管 : (C) 耐衝撃性硬質ビニル管 : (HIVE) 厚鋼電線管 : (G) 難燃性波付硬質ポリエチレン管 : (FEP) 硬質ビニル管 : (VE) ビニル被覆付2種可とう電線管 : (F2WP) C D管 : (CD) 1種金属線び : (MMO) (例: MMA) ※厚鋼電線管は、溶融亜鉛メッキ(附着量300g/m²以上)とする。 露出配管を施工する場合は、美観を損なわないような配管色とする。
4 表記例	○△△ □□ ○△△: 配線種別 □□: 心数 △△ △△: 配管種別 /: 線数(表記なき場合は1本とする) ～ 例 ～ — 2F3 — HPD. 9 (VE22) — 3P — EM-EEF 2.0mm-3C × 1 (天井ころしがし) EM-HP 0.9mm-3P × 1 (VE22) IE2(E19) UTP6A (MMA) EM-IE 2sq×3 (E19) EM-UTP 0.5mm-4p cat6A × 1 (MMA) ※電線・ケーブルサイズのmm,mm2を表す記号を省略しているものについては、サイズに応じて判別すること。

V 地中埋設仕様

特記事項は◎印のついたものを適用する。ただし、◎印のない場合は※印を適用する。

項目	特記事項
1 埋戻し土	掘削土の中の良質土又は監督員の承諾する土とする。 指定土については現場に応じて特記にて指定、指定なき場合は掘削周辺と同一とする。 締固め(転圧)は埋戻し30cm以下毎に行う。
2 テープ・標識	埋設テープは複式(2倍折以上)とする。 ケーブル埋設標示杭は下図参照。図示する箇所(図示記号  (〇〇))に設ける。 ケーブル埋設標示ピンは下図参照。図示する箇所(図示記号  (〇〇))に設ける。 (注) 〇〇には用途・種別を示す。 (参考例) 埋設標示杭・・・高圧 (図示記号  (高圧)) 埋設標示ピン・・・接地極ED (図示記号  (ED)) (接地極埋設標は  と表記) ケーブル埋設標示板は80口アクリル板とし、白地に埋設方向を示す矢印(電力用:赤, 通信用:黄)及びケーブル又は高圧ケーブルの文字(黒)をエッチングにて記入する。 接地標示板は、80口アクリル板とし、白地に標準図に示す接地種別の表示(黒)をエッチングにて記入する。
3 その他	新設ハンドホール・穴明けは原則工場加工とし、既設ハンドホール・穴明けはダイヤモンドカッターを使用する。コブ抜き等で発生したコンクリート殻は適正に処理し、報告すること。 埋設断面は下図参照。
4 地下埋設物調査	工事着手前に施工範囲内の地下埋設物等(電話線、送電線、ガス管、上下水道管、光ケーブル、その他)について、貸与資料(既存完成図、設備図等)及び周辺状況等の確認を行うものとする。 地下埋設物が予想される場合には、監督員に報告の上、地下埋設物管理者と協議を行い埋設物の位置・規模・構造等を確認するものとする。施工中に不明管等を発見した場合、埋設物等に関する調査を再度行い埋設物の管理者を確認した上で、当該管理者の立会いを求め、安全を確認した後、適切に処理するものとする。

埋設深さ=600以上の場合

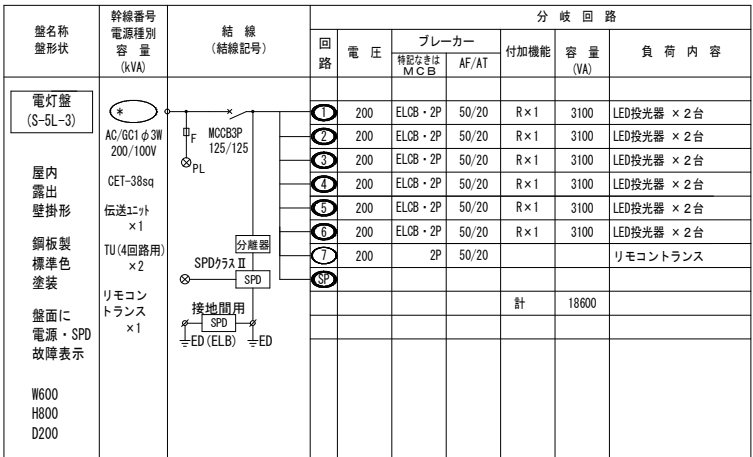
埋設深さ=300以上の場合

※上記は管呼び径50以下の場合の埋設断面図（参考図）を示す。

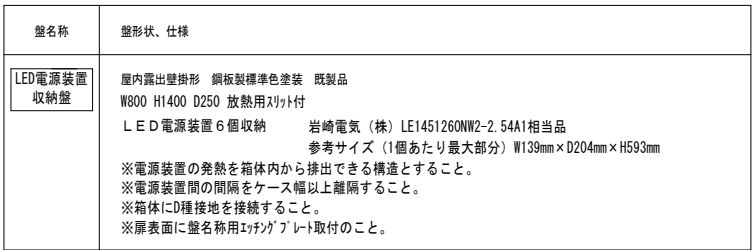
倉敷市ボートレース事業局経営管理課		
工事 内容	倉敷市児島モーターボート競走場 補助照明設置工事	
図 面 番 号	電気設備工事特記仕様書	図 面 A2 : NONSCALE
	設計担当	令和8年 6月作成
	山 木	監 査
		E-02

分電盤結線図

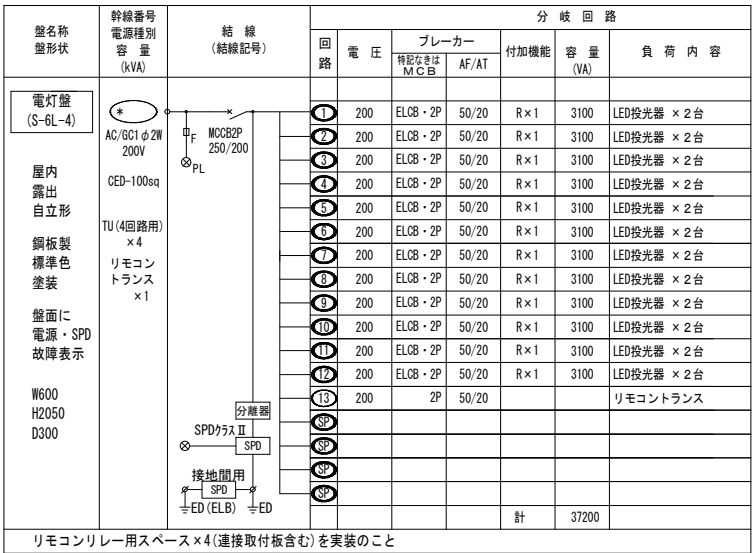
(新設)



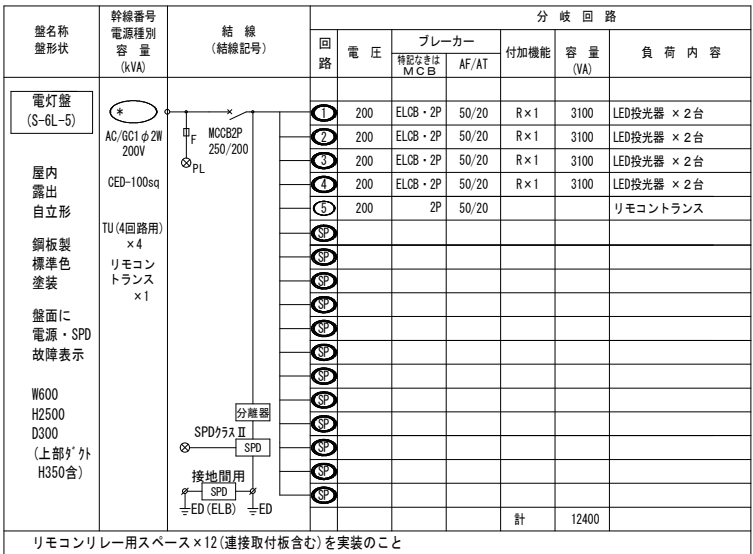
(新設)



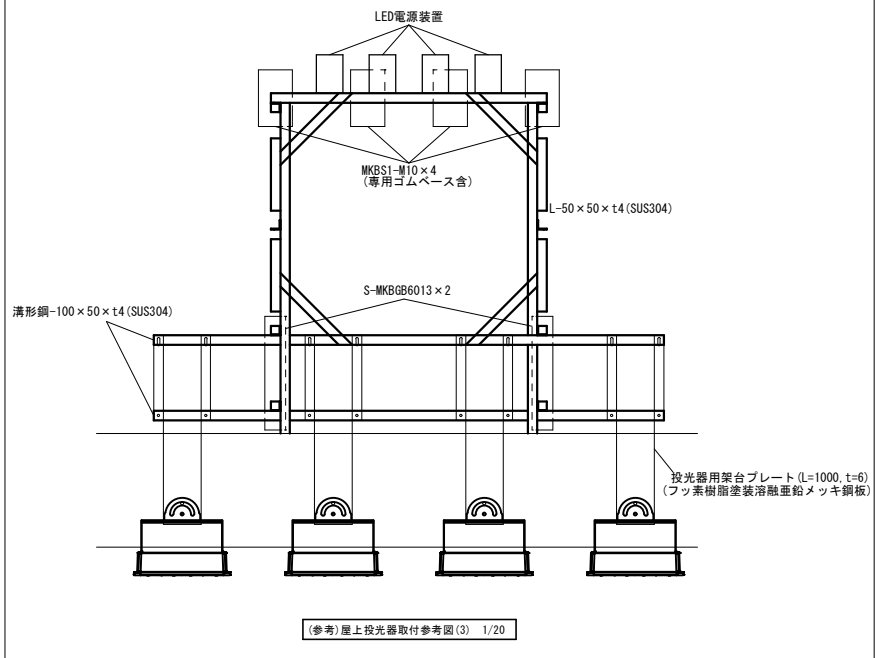
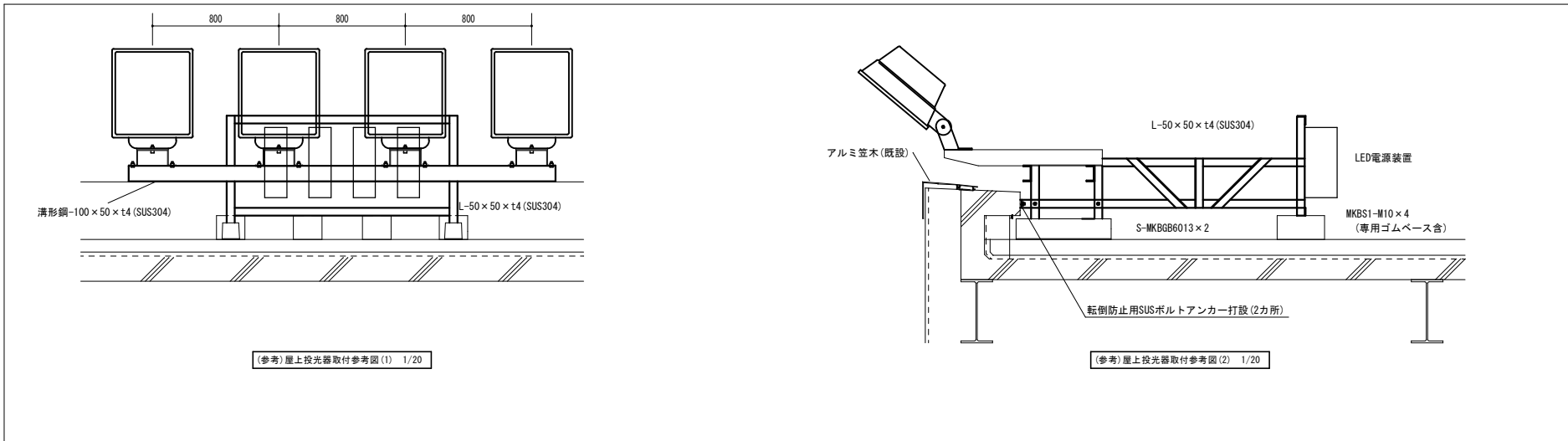
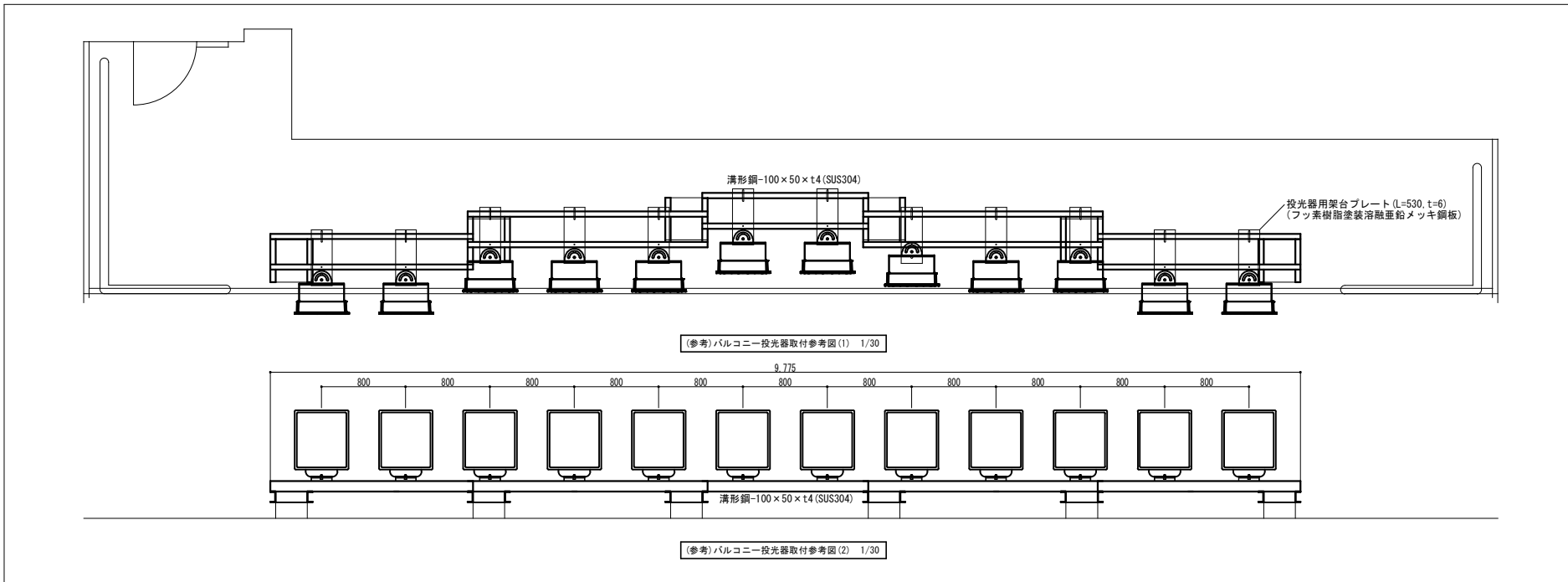
(新設)



(新設)



投光器取付参考図



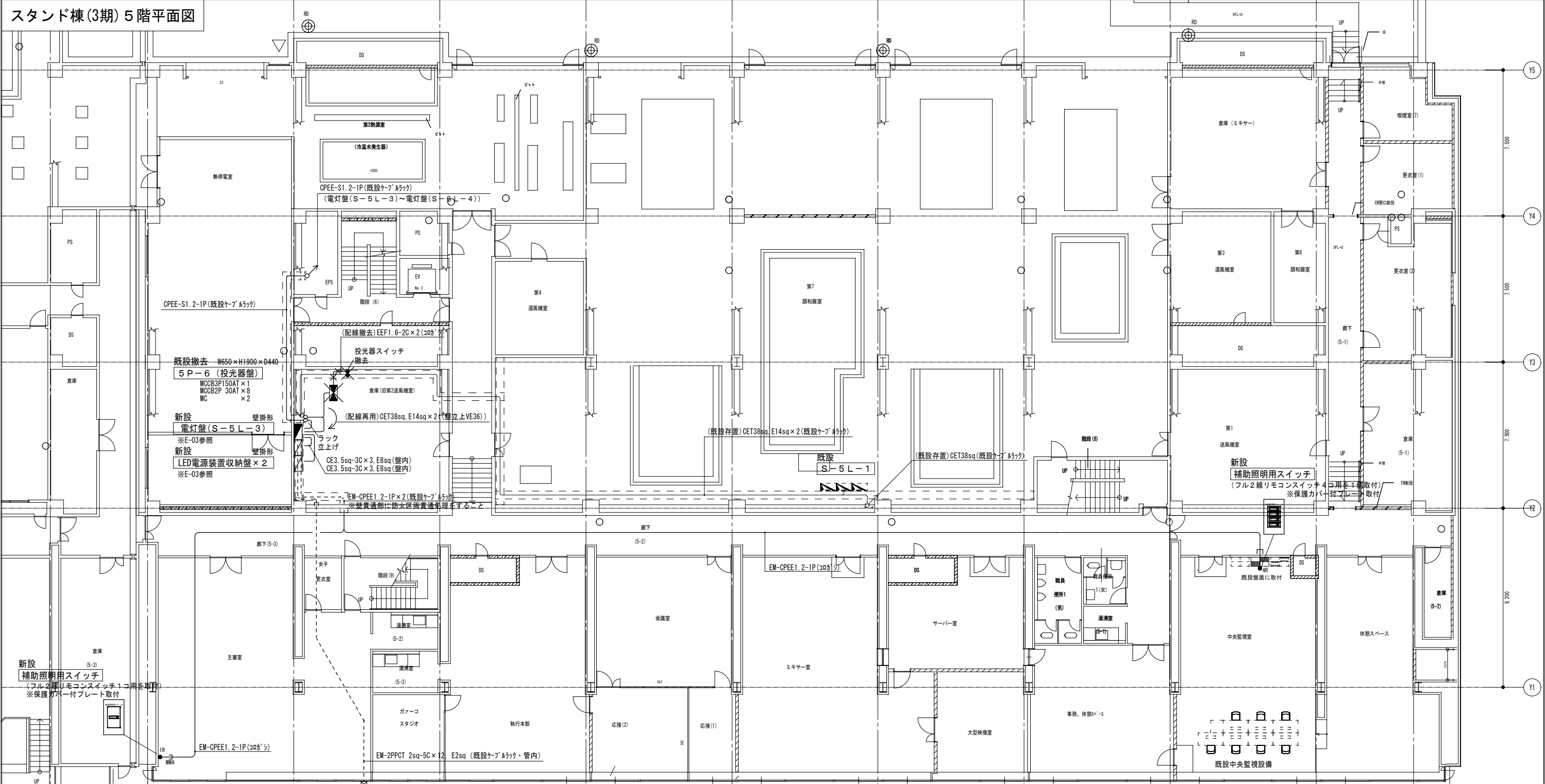
照明器具参考姿図

A1500	LED投光器(ショートアークメタルハライドランプ2000W以上相当) 屋外型、重耐塩仕様、光害対策型、換角タイプ
消費電力：1540W(200V)以下	
定格光束：170000 lm以上	
光源色：5000K	
平均演色評価数：Ra80以上	
光束維持時間：40000時間以上(光束維持率95%)	
参考型番：岩崎電気 E43014N/NSAJ2	

注記
・灯具にはSUS製の落下防止ワイヤー(φ5mm)を取付のこと

倉敷市ポートレース事業局経営管理課			
倉敷市児島モーターボート競走場 補助照明設置工事			
分電盤結線図・照明器具参考姿図ほか		縮尺	A1 1/30 A3 1/60
設計担当		令和8年 6月作成	
山本		図番	E-03

スタンド棟(3期) 5階平面図



新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

既設撤去 W650×H1900×D440
5P-6 (投光器盤)
MCCB3P150AT×1
MCCB2P 30AT×8
MC×2
新設
電灯盤(S-5L-3)
※E-03参照
壁掛形
新設
LED電源装置収納盤×2
※E-03参照

既設撤去 EEF1.6-2C×2 (300W)
投光器スイッチ
撤去
倉庫 (旧第2送風機室)
(配線再用) CET38sq, E14sq×2 (壁立上VE36)
ラック
立上げ
CE3.5sq-3C×3, E8sq (壁内)
CE3.5sq-3C×3, E8sq (壁内)

EM-CPEE1.2-1P×2 (既設ケブ・ラック)
※壁貫通部に防火区画貫通処理をすること

EM-CPEE1.2-1P (300W)
EM-CPEE1.2-1P (300W)

既設
S-5L-1
(既設存置) CET38sq, E14sq×2 (既設ケブ・ラック)

(既設存置) CET38sq (既設ケブ・ラック)

新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ4コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

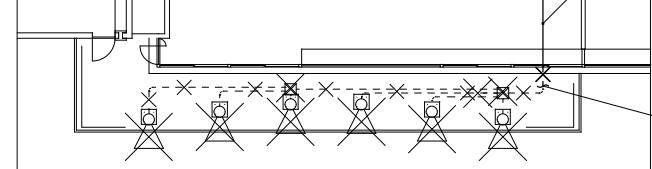
新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

新設
補助照明用スイッチ
(フル2線リモコンスイッチ1コ用を1取付)
※保護カバー付プレート取付

※E-03参照

EM-2PPCT 2sq-5C×12 (SUSG70)
EM-2PPCT 2sq-5C (300W)
※耐候性ナイロン12製結束バンド等
を使用し、架台に支持のこと

バルコニー既設撤去図

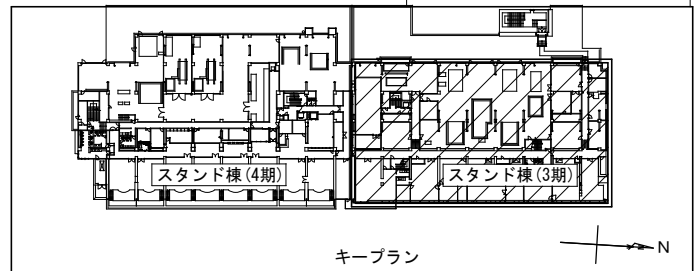


(配線撤去配管存置) CE8sq-2C×6 ((G70)), (ケブ・ラック), (300W)
5P-6 (投光器盤) まで配線撤去

※以降のバルコニー部の電気設備撤去は別途工事とする。
既設5000W投光器 6台撤去 (別途工事)
W700mm×H1100mm×D900mm 約135kg (1台あたり)

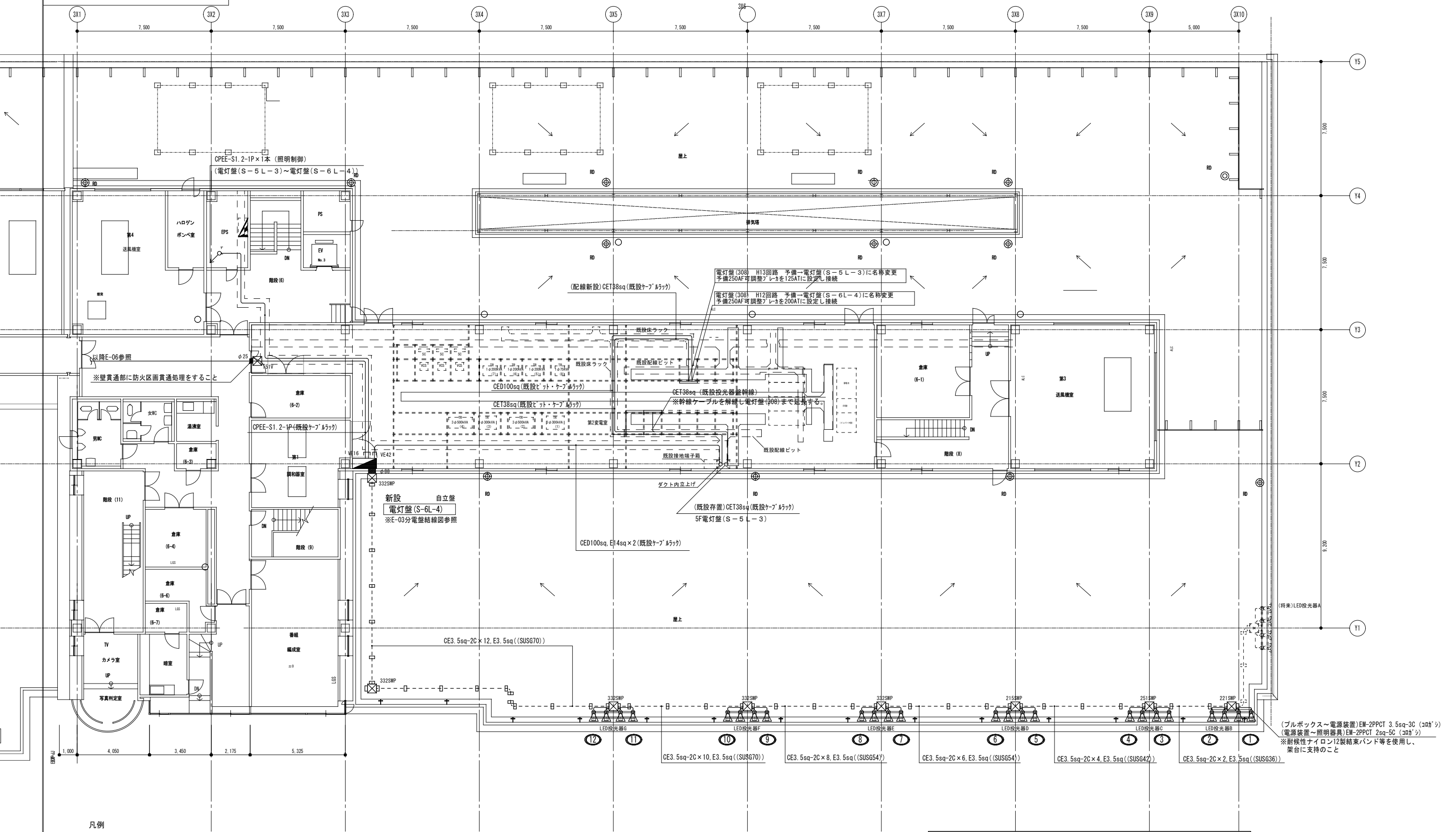
記号	名称	仕様
332SWP	ブルボックス	PBSS300口×200 (SUSWP)
□	屋上配管架台	L150ゴムシート付
●1R	リモコンスイッチ	7#2線式リモコンスイッチ(1個用) 保護カバー付P取付
●4R	リモコンスイッチ	7#2線式リモコンスイッチ(4個用) 保護カバー付P取付
■φ	機械はつり補修	貫通径は傍記
巾	立上げ、立下げ 配管切替	保護配管は傍記
■	分電盤	E-03分電盤結線図参照
△	LED投光器	E-03照明器具参考姿図参照

《注記》
・バルコニー部の照明器具設置は、主審室の前での作業となるため、レース非開催日に作業すること。
・照明器具には、落下防止ワイヤー (SUS製) を取り付けること。
・照明器具及び架台のネジには全て緩み止め防止措置をすること。
・ALC壁貫通箇所は、メーカーの加工基準を厳守すること。
・作業時は手すり間にネットを張るなど、安全対策・落下防止対策を行い作業すること。



倉敷市ポートレース事業局経営管理課			
倉敷市児島モーターボート競走場 補助照明設置工事			
工事名	スタンド棟(3期) 5階電灯設備改修平面図	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200
設計担当	山本	令和8年 6月作成	E-04

スタンド棟(3期) 6階平面図

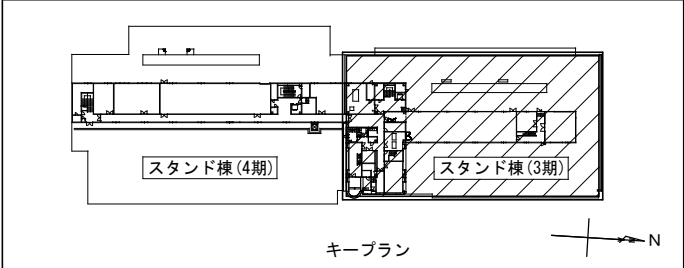


凡例

記号	名称	仕様			
☒151V	ブルボックス	PBSS150□×100 (VE)	□	屋上配管架台	L150ゴムシート付
☒151SWP	ブルボックス	PBSS150□×100 (SUSWP)	■φ	機械はつり補修	貫通径は傍記
☒221SWP	ブルボックス	PBSS200□×100 (SUSWP)	巾	立上げ、立下げ	保護配管は傍記
☒215SWP	ブルボックス	PBSS200□×150 (SUSWP)	■	分電盤	E-03分電盤結線図参照
☒332SWP	ブルボックス	PBSS300□×200 (SUSWP)	△	LED投光器	E-03照明器具参考姿図参照
☒221SWP	ブルボックス	PBSS200□×100 (SUSWP)			

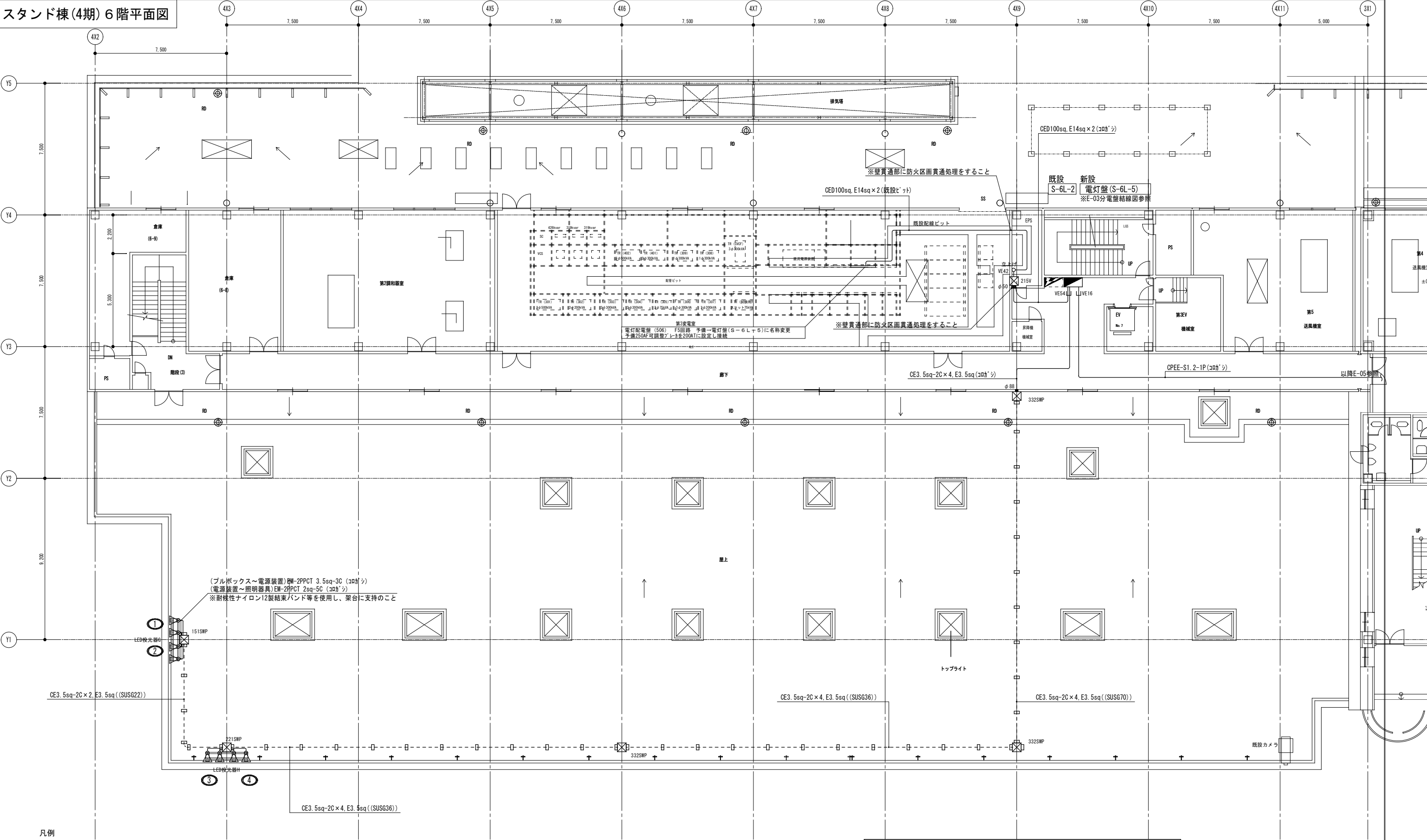
《注記》

- ・レース中（展示含む）は、競争水面（レース中の選手）から見える位置での作業、アンカー打設などの音が出る作業及び電氣的に短絡の恐れのある作業は、禁止とする。
- ・照明器具には、落下防止ワイヤー（SUS製）を取り付けること。
- ・照明器具及び架台のネジには、全て緩み止め防止措置をすること。
- ・ALC壁貫通箇所は、メーカーの加工基準を厳守すること。
- ・工事完了後、選手会岡山支部の選手にて薄暮時に航走を行ってもらい、実際のレースに支障にならないか確認を行うこと。
- ・また選手から意見が出た場合はその場で角度調整を行い、再度確認してもらうこと。
- ・防火区画貫通箇所には区画貫通処理剤を使用すること。
- ・既設防火区画貫通処理箇所にケーブルを配線した場合、認定工法での補修を行うこと。。



倉敷市ポートレース事業局経営管理課			
倉敷市児島モーターボート競走場 補助照明設置工事			
スタンド棟(3期) 6階照明設備改修平面図		縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400
設計担当		令和8年 6月作成	
山木		図番	E-05

スタンド棟(4期) 6階平面図

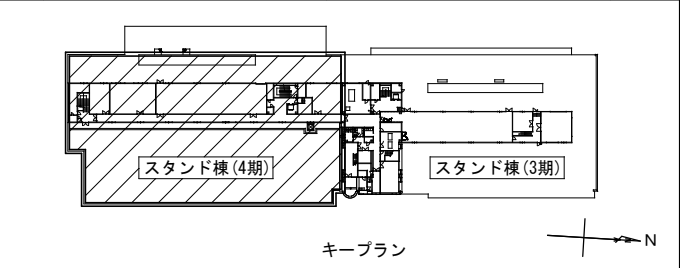


凡例

記号	名称	仕様			
☒151V	ブルボックス	PBSS150□×100 (VE)	□	屋上配管架台	L150ゴムシート付
☒151SWP	ブルボックス	PBSS150□×100 (SUSWP)	■φ	機械はつり補修	貫通径は傍記
☒221SWP	ブルボックス	PBSS200□×100 (SUSWP)	巾	立上げ、立下げ	保護配管は傍記
☒215SWP	ブルボックス	PBSS200□×150 (SUSWP)	■	分電盤	E-03分電盤結線図参照
☒332SWP	ブルボックス	PBSS300□×200 (SUSWP)	△	LED投光器	E-03照明器具参考姿図参照
☒221SWP	ブルボックス	PBSS200□×100 (SUSWP)			

《注記》

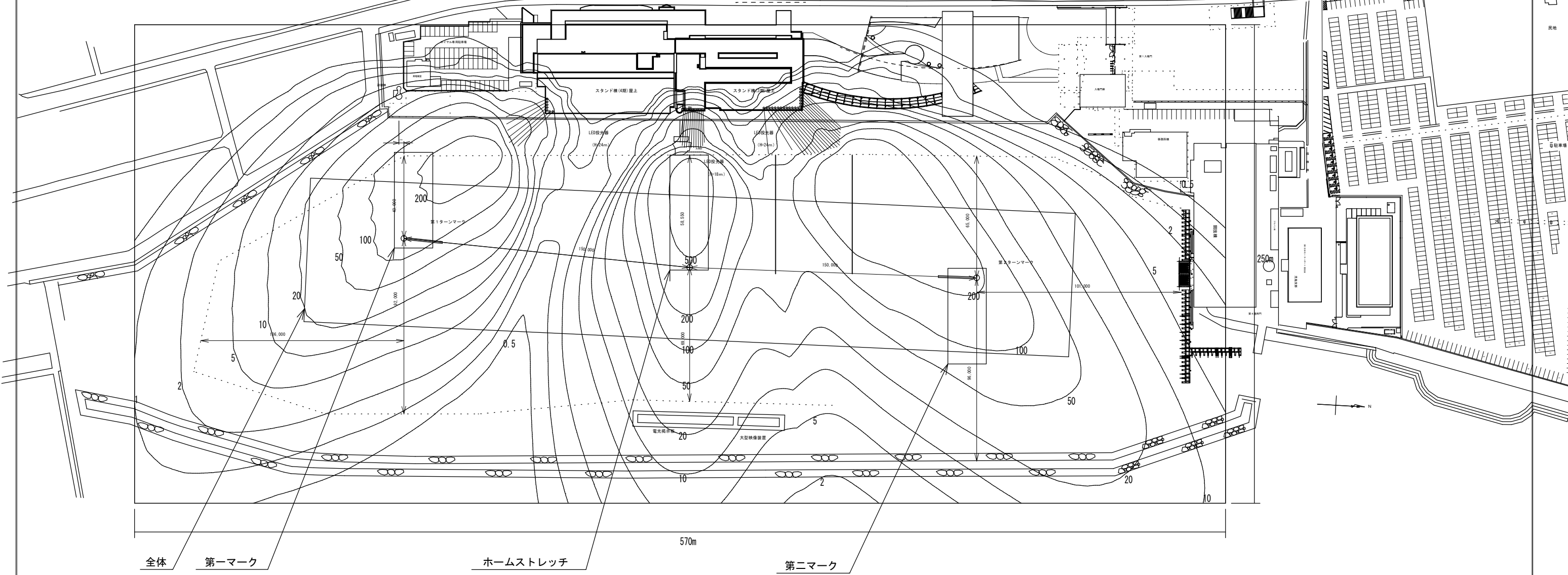
- レース中（展示含む）は、競争水面（レース中の選手）から見える位置での作業、アンカー打設などの音が出る作業及び電氣的に短絡の恐れのある作業は、禁止とする。
- 照明器具には、落下防止ワイヤー（SUS製）を取り付けること。
- 照明器具及び架台のネジには、全て緩み止め防止措置をすること。
- A L C 壁貫通箇所は、メーカーの加工基準を厳守すること。
- 工事完了後、選手会岡山支部の選手にて薄暮時に航走を行ってもらい、実際のレースに支障にならないか確認を行うこと。
- また選手から意見が出た場合はその場で角度調整を行い、再度確認してもらうこと。
- 防火区画貫通箇所には区画貫通処理剤を使用すること。
- 既設防火区画貫通処理箇所にケーブルを配線した場合、認定工法での補修を行うこと。。



倉敷市ポートレース事業局経営管理課			
工事名	倉敷市児島モーターボート競走場 補助照明設置工事		
図名	スタンド棟(4期) 6階電灯設備改修平面図	縮尺	A1 : 1/200 A3 : 1/400
設計担当		令和8年 6月作成	
図審		E-06	

全体配置図

<水平面照度Eh(上向き)> (計算面高さ= 0 [m]) Scale = 1 / 1500



照度及び計算範囲

	第一マーク (20m×50m)	ホームストレッチ (20m×60m)	第二マーク (20m×50m)	全体 (75m×400m)
平均照度 (lx)	168	553	154	107

(注記)

- 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。 単位:(lx)
- 計算は仮想水面上とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。

